

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N.o.	5-	6
会計	款	項
一般	2	1 10

事業名	行政協力員経費
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために
施 策	3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的（対象がどのような状態になっているか）	住民と行政の橋渡し役として、地域の代表者、連絡者として、地域住民へ行政情報の伝達と要望等の取りまとめをしてもらう。また、行政からの依頼について協力してもらう。
事業内容	行政協力員…各自治会の代表者（自治会長）を行政協力員として委嘱することにより、自治組織と町との連携を密にし、町行政の効率的な運営を図る。 ※行政協力員の主な処理事項：行政情報の配布、地域住民の要望等の連絡、行政が依頼する催し事、説明会等の調整、地域の環境衛生、防犯・防災等の環境向上を図る。 行政連絡員…行政協力員を補佐し、各自治組織の班長との連絡にあたる。 令和4年度に行政協力員謝礼、行政連絡員謝礼を廃止する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
							% ↑ ↗
1	地域活動やボランティア活動に参加している町民の割合	—			%	↑	↗
2							
3							
4							
5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）		
全体事業費（千円） A+B			11,272	8,720	3,036		
財源 内訳	直接事業費A	8,236	5,684	0			
	うち一般財源	8,236	5,684	0			
人件費（千円）B			3,036	3,036	3,036		
内訳	一般職員（人・千円）	0.46	3036	0.46	3036	0.46	3036
	臨時職員（人・千円）	0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性		有効性	目標達成度	
		町関与の必要性		効率性	対象者の適切性	
					コストの削減	
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	令和4年度から行政協力員に関する規則を廃止し、行政協力員等の謝礼だけでなく、行政協力員自体がなくなるため、行政との関係性の再構築が必要である。	③取組の課題	自治会の負担が軽減される一方、町との関係性を維持するための対策を考える必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	自治会長の会議等の出席への報償費の支出のため、報償金要綱を制定した。	④今後の改善計画	来年度の自治会との関係性がどうなるかについて、様子を見つつ、新たな対策を考えていく。